

第13回 くまの町 健康まつり

～みんなで作ろう 健康くまの～

時 2月26日(日)
10:00～15:00
所 町民会館

けんこう講演会

県立広島病院地域巡回講演会

『今から始める！脳卒中予防』

講師：木矢 克造氏
県立広島病院院長

時 10:00～11:30
(受付は9:45から開始)
☆手話通訳があります☆



先着200人にエコバックをプレゼント

『絵本のよみきかせコンサート♪』

講師：森岡 直子氏
フレンド・キッズ！ミルキーウェイ代表

時 13:30～14:30
(受付は13:15から開始)
子どものころが育つ♪
ミュージカルのような読み聞かせです。



先着100人にエコバックをプレゼント

『けんこう応援ひろば』



体力測定や血管年齢・脳年齢などのチェック、様々な専門家による相談コーナーを準備しています。(11:00～15:00)



ふでりんも行くりん♪

町内事業所による『おいしい屋台』
うどん・チヂミ・たこ焼き・豚汁など



子育て・健康推進課 ☎820-5637

地域づくりと協働についての講演会 開催

「地方創生」について、講演会を通して考えてみませんか。ぜひ、お気軽に参加ください。

▶講師：中島 由紀氏
(法政大学非常勤講師)



法政大学修士課程修了(政策学修士)。広告業界に長く在籍し、約11年編集長職を務める。その間、多くの企業のプロモーション戦略やマーケティング分析に携わる。

現在は、これまでの経験を生かし自治体のマーケティングやプロモーション

コンサルタント業に従事。並行して2010年より現職。地域のポジショニング分析、地域資源評価、協働の組織分析などを中心に、自治体のまちづくりコンサルタントとして各地の地域活性化プロジェクトに関わる。

時 2月16日(木) 14:00～16:00 (開場) 13:30
所 町民会館集会所 定100人

【演題】

“地方創生” 地域と行政の連携・協働の在り方

- ①人口減少で熊野町はどうなる？
- ②なぜ、連携・協働が必要なの？
- ③協働の事例紹介
- ④熊野町はどうなる？私たちはどうする？
(ワークショップ) (40分程度予定)

商工観光課 ☎820-5602

成人を祝う会において 模擬投票を実施しました

1月8日(日)に行われた平成29年成人を祝う会において、「永住」をテーマに模擬投票を実施しました。

新成人の皆さんは、今回のイベントを通じて、選挙・政治への関心と有権者としての自覚を高めていただき、実際の選挙でも棄権することなく一票を投じてください。

また、同時に実施した政治意識アンケートについては、結果を今後の選挙啓発などに活用します。

参加いただいた新成人の皆さん、ご協力ありがとうございました。



投票結果

当日有権者(来場者)数	204	(内、無効票3票)
投票総数	193	
投票率	95%	

政治意識アンケート結果

回収総数	105
回収率(105/204)	51%

※回収率の分母は当日有権者(来場者)数

1.就職先が選べるほどに増える(雇用、税、社会保障)	65	34%
2.遊びや交流が町内で完結する(衣食住、医療、結婚)	88	46%
3.魅力的な保育・教育施設に希望どおり入れる(子育て・教育)	37	20%
計	190	

問1. 熊野町に永住したいと思いませんか。

必ずしたい	0	0%
可能ならしたい	35	33%
あまりしたくない	58	55%
絶対したくない	11	11%
未回答	1	1%
計	105	

問2. 町内に住み続けるために最も不安に感じるのは、次のうちどれですか？

市街地へのアクセス	59	46%
遊ぶ場所	20	16%
飲食店	12	9%
雇用	11	9%
医療機関	10	8%
若者の少なさ	5	4%
その他(※①)	4	3%
保育・教育の質	2	2%
古くからの付き合い	2	2%
災害	2	2%
住居	1	1%
未回答	1	1%
自然	0	0%
計	129	

※①回答内容
・水道代が高い×2
・障がい者への対応
・都会化していくこと
・駅がない、電車が欲しい
・トンネルの無料化
・総合病院がない

問3. 今後最も推進を期待する施策は次のうちどれですか？(チェックは3つまで)

交通の充実(バスの増便等)	69	27%
飲食店の振興(レストラン等)	33	13%
子育て支援(保育料軽減、出産祝い金等)	31	12%
医療機能整備(総合病院誘致等)	23	9%
商店街の振興	18	7%
観光・交流産業推進	13	5%
住宅整備(空家活用、定住支援金等)	13	5%
教育機能整備(大学誘致、保育・教育の魅力化等)	11	4%
就労支援(就職ガイダンス等)	10	4%
場所を選ばない企業・職業の誘致(IT・芸術等)	8	3%
人材活用(地域おこし協力隊、イベント誘致等)	7	3%
介護・福祉職の募集	5	2%
自然産業推進(農林業、地域ブランド・6次産業化)	4	2%
景観保全	4	2%
情報発信(メディア、フェア等への出店等)	3	1%
未回答	2	1%
地域コミュニティ活動(意見交換会、自治会等)	1	0%
その他(※②)	1	0%
計	256	

複数回答可能なため、回答総数(105)とは一致しない。

※②回答内容
・JRの整備
・学校給食の充実
・総合病院までの交通手段の充実(電車などの誘致)

選挙くまのインフォメーション(9)

▶選挙啓発について

熊野町選挙管理委員会では、近い将来に有権者になる町内の生徒の皆さんに選挙制度や一票の重要性を理解してもらうため、毎年12月頃に執行される両中学校の生徒会役員選挙に実際の選挙で使用する投票箱や記載台を貸し出すなどの活動を行っています。

この他、選挙に関する出前講座も行っていますので、是非ご利用ください。

※講座の内容については、ご相談に応じます。



総務課(選挙管理委員会事務局) ☎820-5601 (5625)